

北谷町公文書館報 ～開館25周年～

所蔵資料(34) 写真:北谷長老祭



泡盛の商品名として一般的に知られている「北谷長老」は、北谷間切出身の「南陽紹弘禅師」という臨済宗の僧が、玉代勢村に隠居したことに對し、村人が慈愛の念を込めて呼んだ尊称に由来します。これまで北谷長老は歴史上の人物としてではなく、もっぱら民話の主人公として取り上げられてきました。

北谷長老祭は17世紀半ばから北谷・玉代勢・伝道の三ヶ字を中心に長老山で挙行されていましたが、1922年(大正11)に沖縄史跡保存会によって「北谷長老南陽禅師之塔」が建立されたのを記念して村祭に移行し、祭日も旧3月3日から旧8月15日、さらに旧9月15日と変化していきます。

写真は1970年代に行われた北谷長老祭の様子です。左手にある石碑が「北谷長老南陽禅師之塔」です。
※北谷町公文書館は役場入口の右手にあります。お気軽にお立ち寄りください。また、北谷に関する資料や写真をお持ちでしたら、ご寄贈や情報提供など、北谷町公文書館の資料収集へご協力をお願いします。